



2024年9月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年8月2日

上場会社名 株式会社 システムソフト
コード番号 7527 URL <https://www.systemsoft.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉尾 春樹

問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長 (氏名) 富田 保徳

TEL 092-732-1515

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年9月期第3四半期の連結業績(2023年10月1日～2024年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年9月期第3四半期	1,897	23.3	124		92		128	
2023年9月期第3四半期	2,474	25.4	39	278.4	9	74.9	2	

(注) 包括利益 2024年9月期第3四半期 143百万円 (%) 2023年9月期第3四半期 12百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年9月期第3四半期	1.51	
2023年9月期第3四半期	0.03	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年9月期第3四半期	6,272	5,632	89.3
2023年9月期	6,742	5,782	85.3

(参考) 自己資本 2024年9月期第3四半期 5,601百万円 2023年9月期 5,748百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年9月期		0.00		0.00	0.00
2024年9月期		0.00			
2024年9月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2024年9月期の期末配当につきましては、現時点では未定としております。

3. 2024年9月期の連結業績予想(2023年10月1日～2024年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,000	11.5	130	16.2	110	18.6	65	30.6	0.76

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年9月期3Q	84,834,140 株	2023年9月期	84,834,140 株
期末自己株式数	2024年9月期3Q	32,069 株	2023年9月期	32,067 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年9月期3Q	84,802,073 株	2023年9月期3Q	84,802,092 株

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	10
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10
(重要な後発事象)	11

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間(2023年10月1日～2024年6月30日)におけるわが国の経済は、行動制限緩和による経済活動の正常化に向けた動きが進み、加えてインバウンド消費効果がプラス材料となり、景気は緩やかな回復基調の動きが見受けられました。その一方で、長期化する資源・エネルギーコストの高騰、それらに伴う度重なる物価上昇や為替変動による影響に加え、世界的な金融引き締め、円安の進行や消費者物価の上昇などにより、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループが属する情報サービス産業におきましては、デジタル技術の進展・普及に伴い、あらゆる産業で企業の生産性向上や競争力強化を目的としたIT・DX関連への投資需要は引き続き拡大しており、社会構想が大きく変化する「ニューノーマル」時代を支える技術的な支援やサービスの提供が一層求められております。また、慢性的な人材不足はさらに深刻化しており、現場技術者及び現場作業員の確保と育成が大きな課題であり、それに関連する費用の高騰等厳しい市場環境が続いております。

このような環境の下、積極的な人材の採用及び良質なエンジニアの育成に注力し、SaaS商品の提供と、システム開発分野全般のサービス価値向上に取り組んでおります。

また、DX領域、RPAソリューション、オープンイノベーションの提供、アライアンスサービスやFA(ファイナンス・アドバイザー)などのコンサルティングを加え、新たな価値創造を目指し、企業価値の向上を目指します。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は前年同期に比して577百万円(23.3%)減少し1,897百万円、営業損失は124百万円(前年同期は営業利益39百万円)、経常損失は92百万円(前年同期は経常利益9百万円)となりました。

また、親会社株主に帰属する四半期純損失は128百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益2百万円)となりました。

セグメントごとの業績は、次のとおりであります。

① テクノロジー事業

Web技術をベースとするシステム開発に強みを持ち、不動産分野、情報通信分野、生損保分野、教育分野等のお客様に対して長年にわたってシステム開発及びソリューションサービスの提供を行っております。また、RPAソリューションサービス、SSクラウドシリーズの提供にも注力してまいりました。

当第3四半期連結累計期間におきましては、既存案件は堅調に推移しましたが、不動産分野における一部案件の体制の変更に伴う縮小、増員不足により受注が当初予定より遅延している案件があり減収、減益となりました。

これらにより、テクノロジー事業の売上高は前年同期に比して489百万円(26.7%)減少し1,344百万円、セグメント利益は前年同期に比して163百万円(85.8%)減少し27百万円となりました。

② オープンイノベーション事業

異業種・異分野が持つ技術やアイデア等を取り入れ、スタートアップ企業への事業立ち上げ等のコンサルティング、イノベーションの場の提供としてシェアオフィスの運営を行っております。

当第3四半期連結累計期間におきましては、拠点見直しに伴う閉鎖により減収となりましたが、概ね計画通りに進捗しております。引き続きコスト削減に取り組んでまいります。

これらにより、オープンイノベーション事業の売上高は前年同期に比して88百万円(13.8%)減少し552百万円、セグメント損失は27百万円(前年同期はセグメント損失56百万円)となりました。

③ その他事業

IoTに関連する商品やサービスの提供事業を行っております。当事業に該当する当社連結子会社である株式会社S2iは、2023年11月30日付で清算終了した事に伴い、連結の範囲から除外しております。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

① 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は前連結会計年度末に比べ319百万円減少し、3,291百万円となりました。これは主に、受取手形、売掛金及び契約資産の減少455百万円、仕掛品の増加51百万円等によるものであります。

固定資産は前連結会計年度末に比べ150百万円減少し、2,981百万円となりました。これは主に、営業権の減少30百万円、のれんの減少100百万円等によるものであります。

この結果、資産合計は前連結会計年度末に比べ470百万円減少し、6,272百万円となりました。

流動負債は前連結会計年度末に比べ165百万円減少し、433百万円となりました。これは主に、未払金の減少109百万円、未払法人税等の減少8百万円等によるものであります。

固定負債は前連結会計年度末に比べ154百万円減少し、206百万円となりました。これは主に、社債の減少70百万円、長期借入金の減少60百万円等によるものであります。

この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べ319百万円減少し、640百万円となりました。

純資産合計は前連結会計年度末に比べ150百万円減少し、5,632百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上等によるものであります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,762,904	2,052,139
受取手形、売掛金及び契約資産	1,288,811	832,909
仕掛品	23,362	75,180
原材料及び貯蔵品	27	230
その他	565,467	336,126
貸倒引当金	△30,084	△5,397
流動資産合計	3,610,489	3,291,188
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	32,680	30,603
工具、器具及び備品（純額）	11,677	13,433
有形固定資産合計	44,358	44,037
無形固定資産		
のれん	1,935,038	1,834,174
その他	269,006	213,388
無形固定資産合計	2,204,045	2,047,562
投資その他の資産	883,390	889,479
固定資産合計	3,131,793	2,981,080
資産合計	6,742,282	6,272,269
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	142,624	152,720
未払法人税等	18,729	10,270
その他	438,099	270,960
流動負債合計	599,454	433,950
固定負債		
社債	180,000	110,000
長期借入金	60,000	—
資産除去債務	10,207	2,533
その他	110,162	93,651
固定負債合計	360,370	206,185
負債合計	959,824	640,135

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,706,476	1,706,476
資本剰余金	3,542,739	3,542,739
利益剰余金	615,690	487,527
自己株式	△8,086	△8,086
株主資本合計	5,856,819	5,728,656
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,684	17,353
為替換算調整勘定	△113,622	△144,679
その他の包括利益累計額合計	△107,937	△127,325
新株予約権	23,948	23,948
非支配株主持分	9,627	6,853
純資産合計	5,782,458	5,632,133
負債純資産合計	6,742,282	6,272,269

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2022年10月1日 至2023年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2023年10月1日 至2024年6月30日)
売上高	2,474,241	1,897,007
売上原価	1,814,097	1,441,421
売上総利益	660,143	455,586
販売費及び一般管理費	620,491	579,903
営業利益又は営業損失(△)	39,652	△124,316
営業外収益		
受取利息	5	6
受取配当金	624	8,788
為替差益	587	31,986
助成金収入	7,760	3,921
償却債権取立益	—	5,319
その他	966	5,274
営業外収益合計	9,944	55,296
営業外費用		
支払利息	9,948	5,092
支払手数料	15,177	10,890
その他	14,488	7,253
営業外費用合計	39,614	23,236
経常利益又は経常損失(△)	9,981	△92,257
特別利益		
投資有価証券売却益	19,709	598
新株予約権戻入益	570	—
特別利益合計	20,280	598
特別損失		
固定資産除却損	680	4,659
投資有価証券売却損	4,129	—
投資有価証券評価損	—	1,087
店舗閉鎖損失	—	6,199
特別損失合計	4,809	11,946
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	25,452	△103,604
法人税、住民税及び事業税	21,021	20,146
法人税等合計	21,021	20,146
四半期純利益又は四半期純損失(△)	4,430	△123,750
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,530	4,411
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	2,899	△128,162

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	4,430	△123,750
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△16,136	11,668
為替換算調整勘定	△475	△31,056
その他の包括利益合計	△16,611	△19,387
四半期包括利益	△12,181	△143,138
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△13,712	△147,550
非支配株主に係る四半期包括利益	1,530	4,411

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	テクノロジー 事業	オープン イノベーション 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,833,989	640,251	2,474,241	—	2,474,241
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	318	318	—	318
計	1,833,989	640,569	2,474,559	—	2,474,559
セグメント利益又は 損失(△)	190,316	△56,875	133,441	△170	133,270

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

売上高	金額
報告セグメント計	2,474,559
「その他」の区分の売上高	—
セグメント間取引消去	△318
四半期連結損益計算書の売上高	2,474,241

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	133,441
「その他」の区分の利益	△170
全社費用(注)	△93,618
四半期連結損益計算書の営業利益	39,652

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	テクノロジー 事業	オープン イノベーション 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,344,715	552,292	1,897,007	—	1,897,007
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,344,715	552,292	1,897,007	—	1,897,007
セグメント利益又は 損失(△)	27,109	△27,693	△584	—	△584

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

売上高	金額
報告セグメント計	1,897,007
「その他」の区分の売上高	—
セグメント間取引消去	—
四半期連結損益計算書の売上高	1,897,007

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	△584
「その他」の区分の利益	—
全社費用(注)	△123,732
四半期連結損益計算書の営業利益	△124,316

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

2023年11月30日付で株式会社S 2 i は、清算終了したことにより、第1四半期連結会計期間より、同社を連結の範囲から除外しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	70,312千円	66,344千円
のれんの償却額	100,864 "	100,864 "

(重要な後発事象)

(会社分割及び子会社株式の譲渡)

当社は、2024年6月3日開催の取締役会において、当社の完全子会社であるSS Service株式会社に対して、吸収分割の方法により、当社の東日本システムソリューション部及びDXサービス推進部が行うソリューション事業（以下、「本事業」といいます。）に関する権利義務を承継（以下、「本吸収分割」といいます。）させた上で、株式会社AGENTSMITH HOLDINGS（以下、「ASH社」）に対して、SS Service株式会社の全株式を譲渡すること（以下、「本譲渡」といい、本吸収分割と併せて「本取引」といいます。）を決議いたしました。

1. 本取引の理由

SES事業における集中戦略、及びAIを主体としたアクセラレーションプログラム（スタートアップや第二創業企業への短期間で急成長を実現するための支援プログラム）への注力を主な目的として、当社の東日本システムソリューション部及びDXサービス推進部が行うソリューション事業について、子会社SS Service社への分割承継を経て、ASH社に譲渡することとしました。なお本譲渡を行うにあたって分割のストラクチャが事業の継続性の視点で、譲渡先、当社株主、取引先、従業員などの各ステークホルダーに対して最適であると判断いたしました。

2. 本吸収分割の概要

(1) 吸収分割の要旨

①本吸収分割及び株式譲渡の日程

吸収分割承認取締役会決議日	2024年6月3日
株式譲渡契約締結日	2024年6月3日
吸収分割効力発生日	2024年7月8日
株式譲渡日	2024年7月8日

(注) 本吸収分割は、分割会社である当社において、会社法第784条第2項に定める簡易吸収分割に該当し、承継会社であるSS Service株式会社において、会社法第796条第1項本文に定める略式吸収分割に該当するため、当社及び承継会社の株主総会による、本吸収分割の承認を得ずに行いました。

②本吸収分割の方式

当社を分割会社とし、SS Service株式会社を承継会社とする吸収分割（簡易・略式分割）方式です。

③会社分割に係る割当ての内容

本吸収分割に際して、金銭等の対価の交付はありません。

④会社分割に伴う新株予約権及び新株予約権付社債に関する取扱い

当社が発行済の新株予約権について、本吸収分割による取扱いの変更はありません。

⑤会社分割により増減する資本金

本吸収分割による当社資本金の増減はありません。

⑥承継会社であるSS Service株式会社が承継する権利義務

承継会社であるSS Service株式会社は、当社から、効力発生日において本事業に属する資産、負債、契約上の地位及びその他これらに付随する権利義務について、2024年6月3日付の吸収分割契約書に定めたものを承継いたします。

⑦債務履行の見込み

本吸収分割において、当社及び承継会社であるSS Service株式会社が負担すべき債務履行について、履行の確実性に問題がないと判断しております。

(2) 本吸収分割の当事会社の概要

(1) 名称	株式会社システムソフト(当社) (2024年3月31日現在)	SS Service株式会社 (2024年3月11日現在)
(2) 所在地	東京都千代田区丸の内一丁目8番1号	福岡市中央区天神一丁目12番1号
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役 吉尾 春樹	代表取締役 吉尾 春樹
(4) 事業内容	システム開発、 システムサービスの提供	システム開発、 システムサービスの提供
(5) 資本金	1,706百万円	35百万円
(6) 設立年月日	1979年9月28日	2020年6月11日
(7) 発行済株式数	84,834,140株	1,200株
(8) 決算月	9月	9月
(9) 大株主及び持ち株比率	Apaman Network 株式会社 13.97% APAMAN 株式会社 10.25% 日本マスタートラスト 8.60% 信託銀行株式会社(信託口) 丸山 三千夫 2.94% 株式会社SBI証券 2.32%	株式会社システムソフト 100%
(10) 上場会社と 当該会社との関係	—	当社が株式を100%保有しています。 当社役員が役員(代表者)をつとめて おりますが、譲渡後解消する予定 です。

(3) 直前事業年後の経営成績及び財政状態

(単位：千円)

決算期	2021年9月期	2022年9月期	2023年9月期
連結純資産	5,838,523	5,865,664	5,782,458
連結総資産	7,467,478	7,224,804	6,742,282
1株当たり連結純資産	68.90	68.79	67.79
連結売上高	4,920,126	4,704,404	3,390,566
連結営業利益	377,793	382,736	155,151
連結経常利益	342,682	377,113	135,214
連結当期純利益	483,312	201,017	93,595
1株当たり連結当期純利益	6.15	2.37	1.10
1株当たり配当金	2.00円	2.00円	—

(単位：千円)

決算期	2021年9月期	2022年9月期	2023年9月期
純資産	8,744	8,305	7,999
総資産	9,130	8,691	8,070
1株当たり純資産	43.72	41.52	39.99
売上高	—	—	—
営業利益	△483	△367	△234
経常利益	△483	△367	△234
当期純利益	△554	△438	△305
1株当たり当期純利益	△2.77	△2.19	△1.52
1株当たり配当金	—	—	—

(4) 分割する事業の概要

①分割する事業内容

当社の東日本システムソリューション部及びDXサービス推進部が行うソリューション事業

②分割または承継する事業の経営成績 (2023年9月30日)

	対象事業	当社(連結)	比率
売上高	712,545千円	3,390,566千円	21.0%

③分割する事業が含まれていた報告セグメント

テクノロジー事業

(5) 分割する資産、負債の項目及び金額 (2024年4月30日)

(単位：千円)

資産及び負債	
項目	帳簿価格
流動資産	138,404
固定資産	306
資産合計	138,711
流動負債	26,319
固定負債	57,035
負債合計	83,354
正味資産(資産合計－負債合計)	55,356

(注) 上記金額は2024年4月30日現在のものであり、実際に分割する金額とは異なります。

3. 本譲渡の概要

(1) 異動する会社の概要

前記「2. (2) 本吸収分割の当事会社の概要」における「SS Service株式会社」欄記載のとおりです。

(2) 相手先の概要

(1) 名称	株式会社AGENTS SMITH HOLDINGS	
(2) 所在地	東京都港区麻布台一丁目3番1号	
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役 山菅 利彦	
(4) 事業内容	事業会社各社のマネジメント及びグループ全体の営業統括、バックオフィス業務の統括など	
(5) 資本金	1,000万円	
(6) 設立年月日	2022年1月11日	
(7) 大株主及び持ち株比率	山菅 利彦 80%	
(8) 上場会社と当該会社間の関係	資本関係 人的関係 取引関係	記載すべき事項はありません。 記載すべき事項はありません。 記載すべき事項はありません。

(3) 譲渡株式数、譲渡価格及び譲渡前後の所有株式の状況

(1) 異動前の所有株式数	普通株式 1,200株 議決権の数 1,200個 議決権所有割合 100%
(2) 譲渡株式数	普通株式 1,200株
(3) 譲渡価格	1,050百万円
(4) 異動後の所有株式数	0株 議決権の数 0個 議決権所有割合 0%

4. 本取引の会計処理の概要

本吸収分割は「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 2019年1月16日)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 2019年1月16日)に基づき、共通支配下の取引として処理をする予定であります。

本株式譲渡は「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 2013年9月13日)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 2019年1月16日)に基づき処理をする予定であります。

5. 特別利益の発生見込み

株式譲渡に伴い2024年9月期第4四半期において特別利益1,012百万円が発生する見込みです。

6. 今後の見通し

本件分割及び本譲渡が業績に与える影響につきましては、別途集計のうえ、速やかに公表いたします。